

会 場 第3・4委員会室
時 間 午後2時00分～

市長記者会見資料

1 令和8年第1回市議会定例会に提出する議案について・・・資料①～③

(1) 令和8年度（2026年度）の職員体制及び組織について

～質の高いサービスを柔軟に展開できる高効率な市役所組織の構築を目指して～

(2) 行政サービスの負担の公平性を強化

～施設使用料及び手数料を改定～

2 令和8年度（2026年度）予算（案）について・・・資料④

区 分	令和8年度予算（案）における取組	資料番号
市民の安全・安心の確保	崖・擁壁実態調査及び周知・啓発用マップを作成	資料⑤
	避難所の生活環境を改善 ～中野・石川市民センターに空調機を設置～	資料⑥
市内経済の成長・発展	創業支援の取組を充実 ～新たな創業支援プログラムとピッチコンテストを開催～	資料⑦
	市内中小企業の人材確保を応援 ～伴走支援と補助金を新設～	資料⑧
	八王子駅南口集いの拠点整備運営（愛称：桑都の杜）	資料⑨
都内唯一の日本遺産 としての賑わいの創造	日本遺産を活用した地域の活性化 ～アニメコンテンツと連携～	資料⑩
八王子市を支える 人財の確保と定着	子ども・若者の居場所でデジタル創作体験を実施	資料⑪
	ピッチコンテストの開催	資料⑦
	市民のアイデアをまちの力に ～地域を動かす市民企画事業補助金～	資料⑫

3 令和7年度（2025年度）2月補正予算（案）について・・・・・・資料⑬

区 分	令和7年度 2月補正予算（案）の取組	資料番号
重点支援地方創生臨時交付金を活用した対応	物価高騰対策給付金	資料⑭
	物価高騰対応事業者支援	
市民の安全・安心の確保	生活安全対策	資料⑮
	災害対策	

令和8年第1回市議会定例会に提出する議案について

令和8年第1回市議会定例会に提出する議案は、人事をはじめ、新年度予算や補正予算、条例関係など、計67件の案件を予定しています。

案 件	件 数	備 考
人 事	1 件	人権擁護委員
新年度予算	1 0 件	一般会計ほか
補 正 予 算	1 2 件	一般会計ほか（専決処分3件）
条 例 関 係	4 1 件	新規 1 件 一部改正 3 9 件（受益者負担の適正化 2 3 件） 廃止 1 件
契 約	1 件	包括外部監査契約
指定管理者	1 件	指定管理者の指定
そ の 他	1 件	広域連合の規約変更
計	6 7 件	

令和8年度（2026年度）の職員体制及び組織について ～質の高いサービスを柔軟に展開できる高効率な市役所組織の構築を目指して～

八王子市では、社会経済情勢の不確実性が高まる中、複雑化・多様化する行政課題に適切に対応し、八王子未来デザイン2040で掲げた「みんなで目指す2040年の姿」を実現するため、令和8年度（2026年度）において、以下のとおり体制の強化を図ります。

1 職員体制の強化

（1）事業総点検を踏まえた人員配置

『八王子未来デザイン2040』に掲げる都市像の実現に向け、事業総点検の結果を踏まえ、限られた人的リソースを業務量や業務内容に応じて推進すべき事業に重点的に再配分する。（詳細は別紙1「人的リソースを強化して実施する主な事業一覧」のとおり）

（2）知識や専門性を活かせる職の設定（ジョブ型）

ジョブ型人事制度の促進を踏まえ、職務内容（ジョブ）を明確にし、職の設定（管理）を行う。 例）行政監察官、都市魅力発信プロデューサー等

2 組織改正（全体像は別紙2「八王子未来デザイン2040」の都市像に合わせた組織）のとおり）

（1）政策部門等の再編（7月）

政策推進・立案機能の充実、持続可能な財政運営の維持、職員力の向上を図るとともに、市民サービスの充実に向けて事業部門へのサポート体制を強化する。

（2）生活安全部の再編（4月・7月）

地域の安全・安心の総合的な向上を図る体制に再編する。

（3）産業振興部の再編（7月）

消費を含めた幅広い経済活動を捉えた産業振興を推進するため、部の名称を「経済産業部」へ改称する。

（4）まちづくり部門等の再編（7月）

中長期的な課題である技術系職員の減少に対応するとともに、都市づくりをより一体的・効率的に推進するため、政策立案・事業推進・まちづくり支援の3部門に機能別再編を図る。

【次ページあり】

<問い合わせ>

- 1 総合経営部 業務改善担当課長 昆 電話042-620-7423
- 2 総合経営部 企画調整担当課長 持田 電話042-620-7200

人的リソースを強化して実施する主な事業一覧

別紙1

本市では、限られた人的リソースを業務量や業務内容に応じて適切に配置することで、新たな行政課題にも対応しています。

令和7年度から令和8年度にかけての業務量の増減を人員換算した場合の数値

No.	事務事業名	取組内容	所管課
1	人事管理	ジョブ型人事制度の運用並びに人材の確保及び採用の強化を図る。 【11.5人→12.5人】	職員課
2	(マ) 内部統制の推進	適正な事務執行のため、内部統制におけるリスク管理区分の拡充及び サービス監視を実施する。【0.4人→5.4人】	公文書管理課
3	公共施設の計画的管理 ((充) 避難所空調機設置) ((充) 学校施設の営繕工事)	小・中学校の普通教室の空調機更新工事等及び避難所となる市民セン ター体育室への空調機設置工事の設計・施工監理を行う。【32.6 人→33.4人】	建築課
4	(充) 政策立案機能の充実	「八王子市経営計画(後期計画)」(計画期間 令和9年度(2027年 度)から4年間)の策定に加え、施策間・組織間の連携強化を図る。 【0.5人→2.5人】	経営計画課
5	町会・自治会活動支援	町会・自治会活動の更なる活性化に向けて八王子市町会自治会連合 会事務局の体制を強化する。【0人→1.0人】	協働推進課
6	(マ) 犯罪被害者支援	犯罪被害者支援のための窓口設置等に向けた検討を行う。【0人→ 0.8人】	防犯課
7	重層的支援体制整備事業	多機関協働事業の直営化による分野横断的な支援の強化や福祉分野 のデータ分析業務を実施する。【0.6人→1.6人】	福祉政策課
8	避難行動要支援者支援	個別避難計画の作成手法見直しや福祉・医療等との連携強化を図 る。【1.3人→2.3人】	福祉政策課
9	地域福祉計画の推進	「第4期八王子市地域福祉計画」(計画期間 令和6年度(2024年度) から6年間)の中間改定を行う。【0.3人→0.7人】	福祉政策課
10	(充) 地域で支えあう仕組み づくり	高齢者のスマートフォン活用支援事業、フレイルサポート医地域連 携支援事業を実施する。【0人→1.1人】	高齢者いきいき課
11	高齢者計画・介護保険事業 計画の策定	「八王子市高齢者計画・第10期介護保険事業計画」(計画期間 令 和9年度(2027年度)から3年間)を策定する。【0.6人→1.7人】	高齢者いきいき課
12	(マ) ねんりんピック	令和10年度(2028年度)のねんりんピックに向けた準備を行う。 【0.1人→0.6人】	高齢者いきいき課、 スポーツ振興課
13	生活保護法による扶助	生活保護法に基づく扶助を行う。【64.7人→66.3人】	生活福祉地区第一課、 生活福祉地区第二課
14	健診・検診の推進	九州大学が構築する健康寿命の延伸と健康格差の解消を目的とした プラットフォーム「L I F E S t u d y」に参加し、施策の立案 に結び付ける。【0.1人→0.2人】	成人保健課
15	データ活用保健事業 実施計画の推進	「第2期八王子市国民健康保険データ活用保健事業実施計画」(計 画期間 令和6年度(2024年度)から6年間)の中間改定を行う。【0.1 人→0.5人】	成人保健課
16	(充) 予防接種	予防接種のデジタル化に向けた準備・調整を行う。【5.8人→6.8 人】	健康づくり推進課

【次ページあり】

No.	事務事業名	取組内容	所管課
17	(マ) 発達支援の相談	発達支援に関する相談を総合的に対応できる体制整備として「ワンストップ窓口」を設置する。【0.9人→2.9人】	こども家庭センター
18	道の駅八王子滝山の管理運営	道の駅八王子滝山の次期指定管理者を選定する。併せて、開業予定のイオンモール八王子と連携して滝山地区の賑わいの創出を図る。【0.8人→1.2人】	農林課
19	農業環境の整備	「第4次八王子市農業振興計画」（計画期間 令和9年度(2027年度)からおおむね10年間）を策定する。【0.8人→1.8人】	農林課
20	(充) 企業立地の促進	市外企業に対する誘致活動の強化及び市内企業の流出防止に向けた企業立地支援制度の活用促進を図る。【2.5人→3.5人】	産業振興推進課
21	(充) スタートアップ支援	本市ならではの創業支援プログラムの実施及びアイデアを事業化に繋げるピッチコンテストを開催する。【0.4人→1.2人】	産業振興推進課
22	市営住宅管理	「八王子市営住宅整備・管理計画」及び「八王子市営住宅長寿命化計画」（計画期間 令和9年度(2027年度)から10年間）を策定する。【0人→0.4人】	住宅政策課
23	(充) 戦略的まちづくり	「八王子市立地適正化計画」（計画期間 令和2年度（2020年度）から10年間）の改定を行う。【0人→2.5人】	土地利用計画課
24	用途地域等の変更	地形地物等の変化に伴う用途地域等の一斉見直し及び政策誘導型の用途地域変更を行う。【2.0人→3.0人】	都市計画課
25	八王子駅南口集いの拠点整備運営	八王子中央公園及び八王子中央公園複合施設（桑都の杜）オープンに向けた全市的な賑わいの創出プロジェクトや、関連事業への準備対応等を行う。【6.7人→7.7人】	集いの拠点整備課
26	(充) 地域公共交通の充実	自動運転バス導入に伴う各種作業等を実施する。【0.6人→1.9人】	交通企画課
27	(マ) 学校再編	子どもたちの良好な教育環境の確保に向けて、地域との合意形成に向けた取組を行う。【1.0人→1.1人】	地域教育推進課
28	高尾山学園の運営	不登校対策の一環として高尾山学園の強化を図る。【0.3人→0.5人】	教育指導課
29	学校における働き方改革の推進	大規模校への学年補佐の配置及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法改正に伴う対応を行う。【0.8人→1.8人】	教職員課
30	歴史遺産の保存と活用	本市の歴史・文化を活かした文化観光を進めるため、事業計画策定に向けた検討を行う。【0人→0.8人】	文化財課
31	スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ施設のあり方等の検討を行う。【0.5人→1.3人】	スポーツ振興課、 スポーツ施設管理課
32	(マ) 部活動改革の推進	学校・地域団体・市の連携強化を図り、国・東京都等による新設制度等への対応を適宜行う。【0.4人→1.2人】	スポーツ振興課
33	(マ) 生涯学習センター（クリエイトホール）再編	生涯学習センター（クリエイトホール）再編に向けた検討を行う。【0人→0.2人】	学習支援課

「八王子未来デザイン2040」の都市像に合わせた組織

	現在		令和8年7月～
第1編	市長公室 総合経営部 総務部 契約資産部 財政部 会計課		総合政策部 総務部 財務部 事業部門へのサポート 内部統制
第2編	福祉部 健康医療部		福祉部 健康医療部 市民活動推進部 市民部
第3編	子ども家庭部 学校教育部 生涯学習スポーツ部		子ども家庭部 学校教育部 生涯学習スポーツ部
第4編	生活安全部 都市計画部 拠点整備部 まちなみ整備部 道路交通部		生活安全部 都市計画部 建設部 まちなみ整備部 安全・安心 まちづくり
第5編	産業振興部		経済産業部 経済の好循環
第6編	環境部		環境部

【条例関係】 行政サービスの負担の公平性を強化 ～施設使用料及び手数料を改定～

税で負担する「公費負担」と利用者が負担する「受益者負担」の考え方を明確にし、公平性と透明性を高めるために策定した「受益者負担の適正化に関する基本方針」に基づき、適正価格と現行価格に差がある使用料・手数料について料金を改定します。

1 実施目的

公共施設の維持管理や行政サービスの提供には、使用料・手数料に加え、市民の皆様からの税金が充てられています。今回の改定は、利用者と非利用者との負担の公平性を確保し、将来にわたり行政サービスを持続できるよう、サービスに必要な費用を利用者に適切に負担していただくために行うものです。

2 改定対象

現行価格と適正価格に2割を超える乖離があるものについて、手数料の改定を行います。（なお、改定上限率は、激変緩和措置として原則5割とします。）

- (1) 施設使用料 565件（条例で定める使用料702件のうち、約8割）
- (2) 手数料 168件（条例で定める手数料416件のうち、約4割）
施設使用料564件、手数料163件が値上げとなります。

3 料金改定の対象及び時期

システム改修や周知期間を設けるため、以下の時期に改定します。

料金改定時期	対象
令和8年5月	高尾山麓駐車場
令和8年7月	住民票の写しの交付手数料、納税証明手数料、自転車等の撤去保管手数料、飲食店営業許可申請手数料 など
令和9年4月	市民センター、長房ふれあい館、市民会館、南大沢文化会館、学園都市センター、夢美術館、市民集会所、八王子市斎場、大横保健福祉センター、東浅川保健福祉センター、夕やけ小やけふれあいの里、高尾599ミュージアム、環境学習センター、長池公園自然館、高尾駒木野庭園、富士森体育館、甲の原体育館、西寺方グラウンド、陵南プール、総合体育館、富士森公園、北野公園、上柚木公園、大塚公園、戸吹スポーツ公園、生涯学習センター（分館含む）

【次ページあり】

4 参考

(1) 予算への影響見込額

料金改定による歳入への影響見込みは以下のとおり。

年度	使用料	手数料	合計額	備考
令和8年度	10,000 千円	14,000 千円	24,000 千円	
令和9年度	72,000 千円	20,000 千円	92,000 千円	全ての料金が改定

(2) 利用者負担の軽減について

子ども（中学生以下）料金の土曜日、子どもの日の無料化の継続

対象施設	
	夢美術館（全日無料）、東浅川保健福祉センター（室内プール）、夕やけ小やけふれあいの里、環境学習センター（プール）富士森体育館（卓球・和弓・アーチェリー）、甲の原体育館（プール・卓球）、陵南プール、上柚木公園（陸上競技場）、大塚公園（プール）、こども科学館

(3) 施設利用率の低下への対応

施設使用料については、料金改定時期を令和9年4月としています。指定管理者による利用料金制を採用する施設については、今後市と指定管理者が協議の上、条例上の金額の範囲内で今後の利用率を考慮して最適な料金設定を行います。なお、直営施設においても各施設の実態を踏まえた対応策の検討を行います。

(4) 受益者負担の適正化に関する基本方針

行政サービスを利用する人と利用しない人との負担の公平性を確保するため、市内での検討に加え、市民や学識経験者の意見、市内での説明会で寄せられた声を踏まえて策定したものです。

<基本方針の概要>

- ・適正な受益者負担を維持するため、定期的に料金見直しを行う。
- ・料金の算定は、直近3か年の原価計算の平均値とする。
- ・必要に応じ、近隣自治体及び市場価格との均衡を図る。

令和8年度（2026年度）予算（案）について ～一般会計・全会計ともに過去最大規模～

歳入は、個人市民税や固定資産税の増に加え、株式等譲渡所得割交付金や地方消費税交付金の伸びなどにより、市税及び税外収入が増額となる一方、物価高騰や段階的な定年引上げに伴う退職手当の増額分に対応するため、財政調整基金の活用も行っています。

歳出は、学校改築工事の進捗やGIGAスクール端末の更新など教育費が増えているほか、保育サービスや障害者自立支援給付などの扶助費に加え、給与改定に伴う人件費の増など義務的経費が増えています。

1 予算規模（報道発表資料P3）

(1) 全会計

予算総額 4,786億8,542万円（4,578億287万円 4.6%）

（ ）は前年度当初予算額 増減率

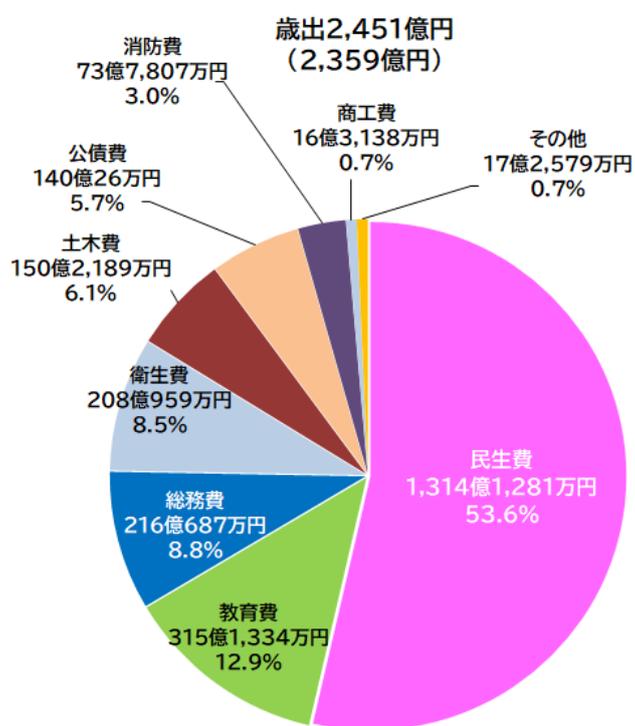
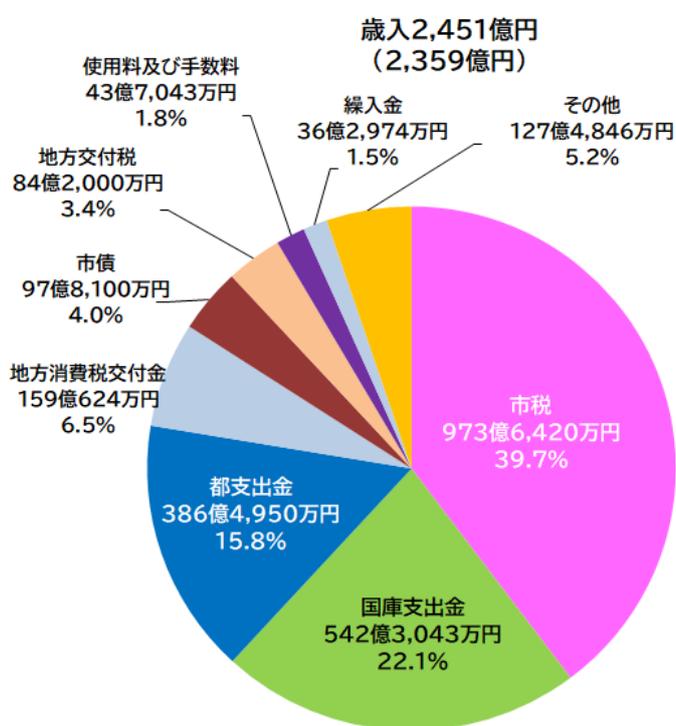
区分	令和8年度 (2026年度)	令和7年度 (2025年度)	前年度比	増減率
一般会計	2,451億円	2,359億円	92億円	3.9%
特別会計	2,047億 1,801万円	1,976億 1,148万円	71億 653万円	3.6%
公営企業会計	288億 6,741万円	242億 9,139万円	45億 7,602万円	18.8%
合計	4,786億 8,542万円	4,578億 287万円	208億 8,255万円	4.6%

【次ページあり】

(2) 一般会計

一般会計予算規模 2,451 億円 (2,359 億円 3.9%)

() は前年度当初予算額 増減率



【次ページあり】

(3) 歳入 性質別 (款別)

(単位 千円)

款	令和8年度 (2026)	令和7年度 (2025)	増△減	増減率 (%)
1 市 税	97,364,199	95,133,467	2,230,732	2.3
2 地 方 譲 与 税	1,088,280	1,079,366	8,914	0.8
3 利 子 割 交 付 金	324,044	454,541	△ 130,497	△ 28.7
4 配 当 割 交 付 金	1,075,541	1,114,815	△ 39,274	△ 3.5
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,147,524	1,352,529	794,995	58.8
6 法 人 事 業 税 交 付 金	2,662,881	2,553,584	109,297	4.3
7 地 方 消 費 税 交 付 金	15,906,241	14,064,161	1,842,080	13.1
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	91,003	91,003	0	0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	1	381,897	△ 381,896	△ 100.0
10 地 方 特 例 交 付 金	880,314	469,514	410,800	87.5
11 地 方 交 付 税	8,420,000	7,220,000	1,200,000	16.6
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	63,416	64,040	△ 624	△ 1.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	89,499	584,615	△ 495,116	△ 84.7
14 使 用 料 及 び 手 数 料	4,370,427	4,305,668	64,759	1.5
15 国 庫 支 出 金	54,230,428	51,859,705	2,370,723	4.6
16 都 支 出 金	38,649,504	37,567,734	1,081,770	2.9
17 財 産 収 入	1,007,633	644,869	362,764	56.3
18 寄 附 金	357,730	348,682	9,048	2.6
19 繰 入 金	3,629,737	2,982,763	646,974	21.7
20 繰 越 金	1	1	0	0
21 諸 収 入	2,960,597	3,247,646	△ 287,049	△ 8.8
22 市 債	9,781,000	10,379,400	△ 598,400	△ 5.8
計	245,100,000	235,900,000	9,200,000	3.9

【次ページあり】

(4) 歳出 目的別 (款別)

(単位 千円)

款	令和8年度 (2026)	令和7年度 (2025)	増△減	増減率 (%)
1 議 会 費	928,741	746,216	182,525	24.5
2 総 務 費	21,606,872	21,985,754	△ 378,882	△ 1.7
3 民 生 費	131,412,804	125,444,391	5,968,413	4.8
4 衛 生 費	20,809,589	19,992,855	816,734	4.1
5 労 働 費	55,367	48,215	7,152	14.8
6 農 林 業 費	589,895	591,354	△ 1,459	△ 0.2
7 商 工 費	1,631,382	1,530,291	101,091	6.6
8 土 木 費	15,021,893	19,226,734	△ 4,204,841	△ 21.9
9 消 防 費	7,378,066	7,715,900	△ 337,834	△ 4.4
10 教 育 費	31,513,340	24,616,072	6,897,268	28.0
11 公 債 費	14,000,262	13,850,429	149,833	1.1
12 諸 支 出 金	1,789	1,789	0	0
13 予 備 費	150,000	150,000	0	0
計	245,100,000	235,900,000	9,200,000	3.9

崖・擁壁実態調査及び周知・啓発用マップを作成

近年、全国で大規模地震や集中豪雨が相次ぎ、崖崩れや擁壁の倒壊による宅地被害が深刻化しています。住宅地に潜む危険を未然に防ぐためには、土地所有者による日常的な点検や管理が重要ですが、崖や擁壁の安全性を判断するには専門的な知見が必要であることから、対策が遅れがちになるという課題があります。

こうした状況を踏まえ、八王子市では、市民が安全に暮らせる環境の確保に向け、市内の崖・擁壁の実態を把握し、宅地防災対策を効果的に促すための新たな取組を進めます。

1 【新規】崖・擁壁実態調査の実施・マップの作成

令和8年度、市内に存在する高さ2mを超える崖・擁壁を調査し、その位置等を明らかにします。調査結果は、市民が自宅周辺のリスクを把握できるよう周知・啓発用マップとして取りまとめ、令和9年度以降、市のホームページなどで公開します。

新年度予算額 28,921千円

2 新たな改修促進制度づくりに向けた検討

実態調査の実施とともに、国の『宅地擁壁の健全度判定・予防保全対策マニュアル』等を参考に、危険性が認められる崖・擁壁については、所有者による改修を後押しするため、新たな改修促進制度の創設に向けた検討を進めます。

避難所の生活環境を改善 ～中野・石川市民センターに空調機を設置～

災害時における避難者の健康確保と避難所生活の環境改善を図るため、八王子市では、避難所として指定している中野市民センター及び石川市民センターの体育室に空調機の設置工事を実施します。

1 避難所空調機の設置状況

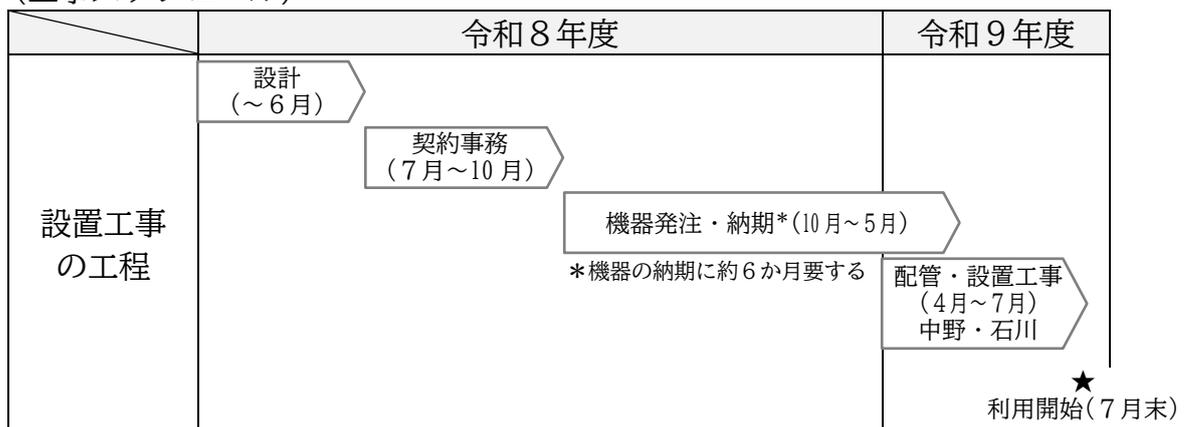
令和7年度末には、改築中の第二小学校及び第四中学校を除き、市立小・中・義務教育学校のすべての体育館への空調機の設置が完了します。一方、避難所に指定している市民センター16施設のうち、7施設の体育室では、空調機が未設置となっており、災害時の環境改善が課題となっています。

このため、八王子市では、令和8年度より、空調機未設置の7施設の体育館について、利用者の利便性を考慮しながら、計画的に設置を進めます。

【参考】空調機未設置である市民センター体育室
中野、石川、子安、台町、大和田、由木中央、元八王子

2 設置工事のスケジュール

空調機の設置工事は、令和8年度から令和9年度までの2か年で実施します。
(工事スケジュール)



新年度予算額 57,040千円

(空調機設置工事費の内訳)

施設名	令和8年度予算額	総事業費
中野市民センター体育室	28,070千円	70,180千円
石川市民センター体育室	28,970千円	72,446千円
計	57,040千円	142,626千円

創業支援の取組を充実 ～新たな創業支援プログラムとピッチコンテストを開催～

八王子市では、創業をめざす方や創業間もない方を支援するため、八王子商工会議所、サイバーシルクロード八王子、金融機関と連携し、人材育成事業を共催するほか、販路拡大に向けた補助などを実施してきました。

令和8年度は、市内での創業をさらに促進するため、ビジネスアイデア創出から事業化までを段階的に支援する新たなプログラムを開始します。

1 【新規】創業支援プログラム

（1）若者向け創業支援プログラム

参加者が自身の原体験や市内でのフィールドワークを通じてビジネスの種を発掘し、その後のワークショップや個別メンタリングを受けながら、実践的なビジネスアイデアへ成長させるプログラムを実施します。

（2）創業体験イベント

年齢・経験に関係なく、創業を体験してみたい方、既に創業していて事業を見直したい方、新規事業を検討している方など、あらゆる方が気軽に参加できる創業体験の機会を提供します。

（3）ビジネスアイデアブラッシュアップ支援

ビジネスアイデアを専門家など第三者に発信することで具体化し、そのフィードバックを受けることにより、課題の整理や事業アイデアの磨き上げを行う。

新年度予算額 6,732千円

2 【新規】ピッチコンテスト開催（令和9年2月開催予定）

八王子市での創業を目指している方や未来を担う学生などを対象に、ビジネスアイデアを競うピッチコンテストを開催します。事業化に向けた資金面や技術面のサポーター（企業・専門家・支援機関など）とつながるきっかけを提供します。

新年度予算額 2,800千円

市内中小企業の人材確保を応援 ～伴走支援と補助金を新設～

八王子市は、慢性的な人手不足に直面する市内中小企業を支援するため、企業の採用力向上や人材定着に向けた新規事業を立ち上げます。新年度から、専門家による伴走支援「就業マッチング支援事業」と、働きやすい職場環境づくりを後押しする「人材確保・定着支援補助金」を新設し、企業の採用活動や働く環境整備を総合的に支援します。

1 【新規】就業マッチング支援事業

人材コンサルタントなどの専門家を企業へ派遣し、採用・定着に関する課題把握から改善提案までを行う。

【主な支援内容】

(1) 専門家派遣（20企業を予定）

企業の採用や定着に関する課題を客観的に分析し、改善策を提案します。

(2) 企業向けセミナー

人材確保や定着に役立つ知識・ノウハウを学ぶ機会を提供します。

(3) 合同企業説明会（R8.12月予定）

支援を受けた企業が求職者へ自社の魅力を直接発信できる場を設け、求人公募の機会を創出します。

新年度予算額 7,732千円

2 【新規】人材確保・定着支援補助金

併せて、働きやすい職場づくりに取り組む中小企業を対象に費用の一部を補助する制度を新設します。

(1) 補助対象

人材を確保するための取組にかかる経費

ハード面：バリアフリー化、ロッカールーム整備、暑熱・寒冷対策の備品購入費など

ソフト面：就業規則や人事評価制度の策定・改定に係る費用など

(2) 補助率及び上限額

3分の2、500千円

新年度予算額 5,000千円

八王子駅南口集いの拠点整備運営 （愛称：桑都の杜）

1 桑都の杜が令和8年10月にオープン

学び・交流・防災の3つの機能を備え、利用・滞在を促す「サードプレイス」の実現を目的とした集いの拠点（愛称：桑都の杜）が令和8年10月にオープンします。

（1）事業概要

- ア 公園 ～桑都（八王子）の歴史にふれる みんなで育てる公園～
水が跳ねるジャンピング噴水、ふわふわドーム、インクルーシブ遊具を備え、誰もが安心して楽しめる公園を提供します。
- イ ミュージアム ～八王子の歴史文化を学び、未来へとつながるミュージアム～
国宝や重要文化財を安心して公開できる公開承認施設※を目指します。また、日本財団から寄贈された木造舞台上、郷土芸能や市民活動の発表の場を提供します。
- ウ ライブラリ ～多様な場があり、読書が楽しくなるライブラリ～
本を公園に持ち出せるなど、その場での体験から「学び合い」が広がる新しいスタイルの図書館を実現します。
- エ 交流スペース ～人と人、人と情報が出会い、次の一歩が生まれる交流スペース～
公園、ライブラリ、ミュージアムの機能が交わり、新たな賑わいへつなげます。



施設全体イメージ



ライブラリとミュージアム



大屋根広場と木造舞台

※公開承認施設：国宝や重要文化財を安全かつ適切に公開できる施設として、文化庁長官が認定した博物館や美術館のことです。

（2）今後のスケジュール

令和8年（2026年）9月 施設竣工・引渡し

令和8年（2026年）10月 施設オープン

PFI事業者による維持管理・運営開始

～令和23年（2041年）9月維持管理・運営期間終了

新年度予算額 752,016千円

【令和8年度の主な事業】

日本遺産を活用した地域の活性化 ～アニメコンテンツと連携～

八王子市の日本遺産ストーリー「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を磨き上げ、桑都の杜などを活用し、本市の歴史文化の魅力を市内外に発信するとともに、アニメコンテンツと連携した構成文化財を巡るイベントの開催などを通じ、市内への誘客と周遊を促進し地域の活性化を図ります。

1 【新規】アニメを活用した誘客促進

本市を舞台としたアニメを活用し、その制作会社及び物語に登場する店舗などとの共創による取組を行う。

（1）内容

- ・聖地などを巡るスタンプラリーの実施
- ・集客効果を高めるオリジナルイラスト制作やフォトスポットの設置
- ・コラボ商品、コラボメニューの提供など

（2）実施時期

令和8年（2026年）11・12月（予定）

新年度予算額 7,500千円

参考1 「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に初めて選定されました！

（一社）アニメツーリズム協会が主催する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に、アニメ『日々は過ぎれど飯うまし』とその舞台となった本市が選定されました。

2月13日（金）には発表会が開催され、全国で33の聖地が新たに誕生しました。



▲発表会の様子

【次ページあり】

<問い合わせ>

- 1、3、参考1について： 産業振興部観光課長 藤原 電話042-620-7378
- 2、参考2について：産業振興部日本遺産推進課長 塩澤 電話042-620-7434

参考2 アニメコラボ第1弾として「聖地巡礼マップ」を発行

日本遺産「桑都物語」推進協議会では、『日々は過ぎれど飯うまし』に登場したスポットや日本遺産構成文化財などを紹介した「桑都・八王子聖地巡礼マップ」を発行・配布します。また、マップをきっかけに本市を訪れたアニメファンなどのおもてなしの一環として、聖地に等身大パネルやポスターを設置します。

○桑都・八王子聖地巡礼マップ

3月4日（水）から市内の観光案内所などで随時配布開始



▲桑都・八王子聖地巡礼マップ



▲等身大パネル（設置場所等は調整中）

2 日本遺産を活用した観光事業化と普及啓発

令和8年（2026年）10月オープンの桑都の杜を活用するなど、観光事業化の推進を図るとともに、更なる普及啓発を行う。

- ・インバウンドを対象とした歴史文化の魅力発信
- ・日本遺産ストーリーに基づいた商品造成（モノ、コト）
- ・普及啓発等を担う人材の育成

新年度予算額 42,198千円

3 【新規】相模原市との連携による周遊促進

都県を越えた観光施策を展開し、誘客と相互交流を図るため、相模原市と連携して両市をフィールドとした体験・周遊型イベントを実施する。

(1) 内容

両市の観光スポット等を巡りながらヒントを集めて謎解きを楽しむイベントの実施

(2) 実施時期

令和9年（2027年）1・2月（予定）

新年度予算額 6,000千円

子ども・若者の居場所でデジタル創作体験を実施

子ども・若者育成支援センター（愛称：はちビバ）では、子ども・若者が自由にデジタルツールに触れ、創造力を発揮できる体験の場を広げていきます。

居場所としての魅力を高めるとともに、次世代を担う子ども・若者の育成支援の充実を図ります。

1 【新規】デジタル創作体験事業

東京都の補助金を活用し、はちビバにおいてデジタル体験活動を行える環境整備を順次進めます。

（1）主な活動内容

ア 3Dプリンタ体験

自分で模型を設計し、3Dプリンタで出力する一連の流れを体験

イ デジタルイラスト作成

タブレットと描画ソフトを使い、イラスト制作に挑戦

ウ プログラミング体験

プログラミングソフトを使って、簡単なゲームづくりを実施

※上記の体験に合わせて、デジタルリテラシーの普及・啓発やWi-Fiなどの通信環境整備による不登校支援の強化（学習用端末を活用した学習支援など）を併せて行い、幅広いデジタル活用を促進します。

（2）整備スケジュール

令和8年度	全10館にWi-Fiを整備 市内4館（由木・中郷・南大谷・みなみ野） でデジタル体験ツールの導入
令和9年度	さらに4館にデジタル体験ツールを導入
令和10年度	残り2館に導入し、全10館で実施 （由木・中郷・南大谷・みなみ野・ 浅川・松が谷・館ヶ丘・元八王子・ 川口・北野）



（参考）3Dプリンタの出力を見守る様子
（令和7年度東京都子供向けデジタル体験向上
プロジェクト 八王子市での事業実施時）

新年度予算額 3,038千円

【令和8年度の主な事業】

市民のアイデアをまちの力に ～地域を動かす市民企画事業補助金～

地域の課題解決に取り組む市民活動団体や、新たな公共サービスの担い手として成長しようとする市民活動団体が行う公益的な事業について、市がその経費の一部を補助することで、市民力・地域力を活かした地域の活性化を図ります。

1 応募部門

(1) A 活動支援部門

活動基盤が整っていない団体が実施する事業で、今後自立した活動として発展が期待できる団体の事業に要する経費を補助します。

(2) B 事業実施部門

活動基盤が一定程度整っており、自立運営を目指している市民活動団体が、さらなる活動の発展を見込むことができる事業の経費の一部を補助します。

(3) C 事業連携部門

活動分野の異なる他の団体（町会・自治会等の地縁型団体を含む）と協力・連携することで、地域の活性化やさらなる発展を見込むことができる事業の経費の一部を補助します。

2 応募部門ごとの補助回数・補助金額

	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業連携部門
補助回数	同一団体の事業に対して 2回まで	同一事業に対して 2回まで	同一事業に対して 2回まで
補助金額 (1回目)	補助対象事業費の 10分の10 (上限10万円)	補助対象事業費の 2分の1以内 (上限50万円)	補助対象事業費の 3分の2以内 (上限50万円)
補助金額 (2回目)	補助対象事業費の 5分の4以内 (上限10万円)	補助対象事業費の 3分の1以内 (上限50万円)	補助対象事業費の 2分の1以内 (上限50万円)

3 募集期間

令和8年（2026年）2月16日（月）から3月12日（木）午後5時まで

新年度予算額 3,000千円

令和7年度（2025年度）2月補正予算（案）について

1 補正予算額〔2月補正予算報道発表資料P4〕

区 分	補正前の額	補正額（案）	補正後の額
一 般 会 計	2,426億2,700万円	92億8,200万円	2,519億900万円
特 別 会 計	1,984億3,008万円	△42億1,732万円	1,942億1,276万円
公営企業会計	233億7,884万円	495万円	233億8,379万円
計	4,644億3,592万円	50億6,963万円	4,695億555万円

2 一般会計の歳入予算の補正額〔2月補正予算報道発表資料P5〕

区 分	補正前の額	補正額（案）	補正後の額
1款 市 税	951億3,347万円	10億7,502万円	962億849万円
5款 株式等譲渡 所得割交付金	13億5,253万円	8億809万円	21億6,062万円
7款 地方消費税交付金	140億6,416万円	12億7,903万円	153億4,319万円
11款 地方交付税	72億2,000万円	45億7,642万円	117億9,642万円
15款 国庫支出金	557億1,383万円	44億2,172万円	601億3,555万円
16款 都支出金	387億3,824万円	△8億1,701万円	379億2,123万円
20款 繰越金	17億6,117万円	23億9,509万円	41億5,626万円
22款 市 債	104億2,380万円	△40億5,690万円	63億6,690万円
そ の 他	182億1,980万円	△3億9,946万円	178億2,034万円

3 一般会計の歳出予算の補正額〔2月補正予算報道発表資料P6〕

区 分	補正前の額	補正額（案）	補正後の額
2款 総務費	239億9,964万円	78億8,158万円	318億8,122万円
3款 民生費	1,295億329万円	11億423万円	1,306億752万円
4款 衛生費	200億6,448万円	△1億8,160万円	198億8,288万円
7款 商工費	15億6,759万円	2億1,300万円	17億8,059万円
10款 教育費	247億5,607万円	17億3,471万円	264億9,078万円
そ の 他	427億3,593万円	△14億6,992万円	412億6,601万円

【補正予算の主な事業】

物価高騰対策給付事業に係る予算を計上

物価高騰の影響を受けている市民を支援するとともに、市内経済を活性化するため、国の地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰対策給付事業に係る経費を計上しました。給付にあたっては、「桑都のまち応援給付金」として、現金のほか、デジタル地域通貨（愛称：桑都ペイ）を活用することで、市内消費の喚起を図ります。また、物価高騰による影響を受けている事業者等への支援も合わせて実施します。

1 物価高騰の影響を受けている市民への支援「桑都のまち応援給付金」

- (1) 給付額 桑都ペイか現金のどちらかを選択
桑都ペイ 1人あたり6,000円相当のポイント
現金 1人あたり5,000円
- (2) 給付対象者 基準日において八王子市の住民基本台帳に記録されている者
- (3) 基準日 令和8年（2026年）1月1日
- (4) 給付方法 世帯全員分の給付額を世帯主に給付
桑都ペイ 1 専用サイトにて受取コードを受領
2 桑都ペイアプリで受取コードを使用し、
ポイントを受取
現金 口座振込
- (5) 通知の送付時期 令和8年（2026年）3月中旬以降
- (6) 給付時期 令和8年（2026年）3月下旬以降順次
- (7) その他 桑都ペイを選択した場合のポイントの有効期限は、
令和8年（2026年）10月31日まで

補正予算額 3,522,000千円

桑都ペイとは

「桑都ペイ」は、令和8年度(2026年度)までを実証期間としている八王子市独自のデジタル地域通貨で、市内の加盟店舗で1ポイント1円として利用できる、専用アプリを使ったキャッシュレス決済サービスです。



【次ページあり】

<問い合わせ>

桑都のまち応援給付金については、
福祉部物価高騰対策給付金担当課長 小俣 電話042-620-7460
桑都ペイについては、
総合経営部計画調整担当課長 三浦 電話042-620-7259
物価高騰の影響を受けている事業者等への支援については、
市長公室都市戦略課長 中正 電話042-620-7550

2 物価高騰の影響を受けている事業者等への支援

物価高騰による影響を受けている事業者等への支援は以下のとおりです。

(千円)

	対象者	支援内容	予算規模	予算の概要
①	介護サービス事業所等	介護サービス事業所等の光熱費、食材料費、燃料費の一部を補助 対象 223 施設	236,437	P20
②	保育所等	民間保育所・認定こども園等の光熱費の一部を補助 対象 156 施設	104,688	P22
③	幼稚園等	幼稚園等の光熱費の一部を補助 対象 30 施設	22,160	P23
④	保育施設	保育所・認定こども園・幼稚園等の給食食材料費の一部を補助 対象 162 施設	259,071	P24
⑤	二次・三次救急医療機関	中核病院・二次救急指定医療機関に支援金を給付 対象 10 施設	120,000	P28
⑥	中小企業者等	経営が改善していない中小企業者等に1者あたり10万円を支給	190,824	P29

補正予算額 933,180千円

市民の安全・安心を確保する取組 ～防災・防犯対策物品の購入費を補助～

地震発生時の被害拡大防止やトイレの衛生環境の確保及び市民の防災意識高揚を目的として、家具転倒防止器具や感震ブレーカー、携帯トイレの購入費の一部を補助します。合わせて、市民の安全確保のため防犯対策物品の購入費についても補助を行います。

1 【新規】家庭用防災物品の購入費等の一部を補助

（1）補助対象者

- ア 申請日時点で、市内に住民登録がある個人であること。
- イ 発災時に、被害拡大防止のために対象品目を居住する住宅に設置する者、また、在宅避難用に携帯トイレの備蓄を目的とする者。

（2）補助内容

市内事業者で購入した以下の物品の購入費等について、一定割合で上限 10,000 円まで補助します。

- ア 家具の転倒防止器具の購入費
- イ 感震ブレーカーの購入費及び取付けに係る工事費
- ウ 携帯トイレの購入費

補正予算額 167,680千円

【次ページあり】

2 防犯対策品の購入費等の一部を補助

【住まいの防犯対策補助金】

特殊詐欺の防止に有用な迷惑電話防止機能付固定電話をはじめ、防犯カメラや、カメラ付きインターホンなど、防犯対策品の購入・設置費用の一部を補助します。

(1) 補助対象

本市に住民登録があり、令和8年4月1日から令和9年2月1日までに市内の販売店等で購入・設置した世帯

(2) 補助内容

購入・設置経費の1/2（上限2万円）千円未満切り捨て

【防犯・再犯防止意識向上緊急事業補助金】

市民の防犯や再犯防止に関する意識を向上させる啓発活動（イベントの開催など）を市民団体とともに行っていきます。

(1) 補助対象

市民の防犯意識向上を図るイベント等を行う市民団体

(2) 補助内容

市と市民団体が連携して多くの市民が参加できるイベントの開催及び防犯意識の向上を図る活動に係る経費

補正予算額 107,660千円